

四国中央市教育委員会会議録

	<p>平成27年四国中央市教育委員会第8回定例会会議録</p>
日時	平成27年8月12日(水) 午後1時30分～
場所	四国中央市本庁5階第1委員会室
委員定数	5名
出席委員	委員長 守谷 一郎、委員 篠原 祥子、委員 近藤 達之介、委員 鈴木 千明、教育長 野村 勝廣
欠席委員	委員 なし
会議に出席した公務員の職氏名	教育部長 伊藤 茂、教育総務課長 眞鍋 葵、学校教育課長 原田 尋、学校教育課主幹 石津 善久、生涯学習課長 石川 寿一、文化振興課長 合田 路彦、国体推進課長 藤田 恭二、少年育成センター所長 石井 和隆、教育総務課長補佐 宮崎 啓三、教育総務課係長 星川 直子、教育総務課 戸田 浩史
傍聴人	16名(報道関係者2名、一般傍聴者14名)
日程	<p>開会宣言 委員長挨拶 平成27年第7回定例会・第4回臨時会会議録の承認 平成27年第8回定例会会議録署名人の指名 教育長報告 教育長より諸般の報告 各課長より事務報告 議事 議案第29号 四国中央市中学校教科用図書採択について その他の案件 高校生議会一般質問要旨及び答弁書(教育委員会関連分)</p>
会議の概要 委員長	<p>開会に先立ち、当委員会の傍聴をされる方をお願いする。傍聴に際しては、四国中央市教育委員会傍聴人規則を遵守願う。規則に違反し、秩序を乱す恐れがあると判断した場合には、退場を命じることがある。</p> <p>なお、協議内容が個人情報に関することなどに及び、委員の合意により、公開が不可となった場合は、会場の外へ退席をお願いすることがあるので、予めご了承ください。</p> <p>また、休憩時間以外でも自己都合による途中退室は認めるが、その場合、再度の入場は認められないのでご注意願う。</p> <p>報道関係の傍聴者に、写真撮影は最初の5分間のみ許可する旨伝える。</p>
委員長	<p>開会 午後1時30分 第8回定例会の開会を宣する。</p>

四国中央市教育委員会会議録

<p>委員長</p>	<p>委員長挨拶</p> <p>暦の上では、立秋を過ぎたが連日猛暑が続いている。体調管理には十分気を付けていただきたい。</p> <p>ご承知のとおり、本市では7月から8月かけ中学生のいじめ事案、また伊予三島運動公園プールにおける幼児の水難事故と、あってはならない事案が起きてしまった。二度とこうしたことが起きぬよう臨時教育委員会や総合教育会議を開催・協議し、市全体の問題と捉え再発防止に努めているところである。教育委員各位、教育委員会事務局各位におかれては、引き続きよろしく願います。</p> <p>本日は、日程にあるとおり四国中央市中学校教科用図書採択についての審議が行われる。教育委員各位におかれては、教科用図書採択に向け教科書、採択委員会からの答申資料をはじめ、各種資料に基づき検討いただいたと思うが、ご多忙の中ご苦勞であった。この後の審議では、十分にご意見をいただきたい。また、教育委員会事務局をはじめ関係者各位には、教科用図書採択審議にあたっての準備、調査、検討資料の作成等、大変お世話になった。この場をお借りして感謝申し上げます。</p> <p>本日はご案内のとおり審議に時間が掛かりそうである。教育委員各位には、スムーズな議事運営にご協力をお願いする。</p>
<p>委員長</p>	<p>会議録承認</p> <p>会議録の承認について諮る。平成27年第7回定例会会議録案及び平成27年第4回臨時会会議録案について、事務局より説明を求める。</p>
<p>宮崎補佐（教総）</p>	<p>平成27年第7回定例会会議録案及び平成27年第4回臨時会会議録案の概要を説明する。</p>
<p>委員長</p>	<p>平成27年第7回定例会会議録案及び平成27年第4回臨時会会議録案の承認について諮る。</p>
<p>全委員</p>	<p>承認する旨答える。</p>
<p>委員長</p>	<p>承認の旨確認し、平成27年第7回定例会会議録及び平成27年第4回臨時会会議録の原案を承認する旨宣する。既に指名の委員には、それぞれ後ほど会議録に署名を願う。</p>
<p>委員長</p>	<p>会議録署名委員の指名</p> <p>平成27年第8回定例会会議録署名人に、野村勝廣委員、鈴木千明委員を指名する。</p>
<p>委員長</p>	<p>報告事項</p> <p>諸般の報告を求める。</p>
<p>教育長</p>	<p>昨日及び本日のテレビニュースや新聞記事を見ると、子どもたちの自殺件数が9月1日に一番多いとの統計が出ていた。本市でもいじめ等による不登校児童・生徒の対応について各学校での徹底をお願いしているところであるが、そうしたことを踏まえなお一層、不登校の子どもたちや調査で判明したいじめ事案について、軽重の度合いに関わらず慎重な対応やケアを含め十分な</p>

四国中央市教育委員会会議録

委員長	<p>配慮が必要であると感じた。</p> <p>本日は、重大案件として中学校教科用図書採択が行われる。教育委員各位におかれては、色々なご意見を出していただき、より良い教科書を選べればと思う。</p> <p>なお、明後日の14日には、新宮地域の成人式が行われるのでよろしく願います。</p> <p>その他、諸般の報告については特別に私から申し上げることはなく、各課から報告の後ご審議いただきたい。</p>
教育総務課長	<p>各課から事務報告を求める。</p>
学校教育課長	<p>教育総務課所管の教育総務・学校管理・学校施設に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>8/4 高校生議会が開催された。内容については後ほど教育部長より報告させていただく。</p> <p>続いて、学校給食に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>8/7 四国中央市学校給食調理員研修が開催された。</p>
石井所長（少年）	<p>学校教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>8月は学校の先生方の研修会が目白押しである。取り分け大きなものとしては、昨日行われた市教育文化講演会及び2回に分けて行われる特別支援教育研修会、更には体育授業づくり研究会、特別支援教育コーディネーター会議、教育フォーラム兼教務・研修・学力向上推進主任研修会と沢山の先生方が研修に参加される。</p>
生涯学習課長	<p>少年育成センターに関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>7月以降各地区の夏祭り、花火大会、盆踊り大会等において地域の補導員、小・中教職員、防犯協会、PTA等が合同で夜間の特別補導を実施している。</p> <p>市内で発生している不審者情報について、前回の定例教育委員会での報告以降、付きまといが1件、露出が1件の計2件の配信を行っている。今年度合計が14件となり、前年度比（8月までの合計件数）はマイナス6件である。</p>
生涯学習課長	<p>生涯学習課所管の社会教育・社会体育・人権教育に関し、資料に基づき事務報告する。</p> <p>8月に入り土・日と各地域において夏祭りが盛大に開催されている。</p> <p>先ほど教育長からご案内があったが、14日に新宮地域の成人式が行われるのでよろしく願います。</p> <p>先般、不幸にも伊予三島運動公園プールにて水難事故が発生してしまったが、その後の利用状況について報告する。昨年度の土・日は台風のため対比できないので今年度値の対比とする。7月25日（土）は、1192名の利用で、8月1日（土）は1056名の利用であったのが、8月8日（土）には346名と激減した。日曜日を比較すると7月26日（日）は、1802名、8月2日（日）は、午後3時で休館としたが1491名の利用があった。8月9日（日）は、650名と半分以下の利用にとどまった。なお、8月5日以降の平日についても240～250名程度で普段の半分以下であった。</p>

四国中央市教育委員会会議録

<p>国体推進課長</p>	<p>国体推進課所管事務に関し、資料に基づき事務報告する。 8/1 湖水まつり：えがおダンスキャラバン隊、みきゃん・しこちゅー国体PRを実施している。7月に引き続き夏の様々なイベントにおいて、えひめ国体の広報・啓発活動に取り組んでいる。 8/20 岩手国体リハーサル大会が開催される。それぞれの担当が視察予定である。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>文化振興課所管の文化振興・図書館に関し、資料に基づき事務報告する。 8/23 ふれあい大学「さかなクントークショー」の開催予定である。 続いて図書館関係について資料のとおり報告する。 それぞれの図書館にて上映会、お話し会等、図書館ボランティアの皆様にご協力いただきながら利用促進を図っているところである。 今月については、戦後70年を迎える年として平和をテーマとしたコーナーを各図書館に設けている。 かわのえ高原ふるさと館では、企画展示として「川之江藩と一柳家」をテーマに8月8日から9月27日まで展示を行っている。 暁雨館では、暁雨館大学として「地域の生活における服飾文化」と題して古川静枝先生にご講演いただく予定である。</p>
<p>委員長</p>	<p>只今の教育長及び各担当からの報告について、意見質問等がないか問う。</p>
<p>教育長</p>	<p>伊予三島運動公園プールの利用率が減少した件については、事故による影響も大きい、造波プールを停止していることにもあると思う。造波プールを楽しみとしている方は多い。来年度からは、安全対策を十分に講じた上で市民のニーズに応えていただきたい。</p>
<p>生涯学習課長</p>	<p>その件については、体育協会と意思統一を図るべく先般、協議を行っている。本年度は、造波しないことを決定しているが、来年度以降は造波する前提の下に、どのようにすれば実現できるかの協議を行っていくのでよろしく願います。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に意見等ないか問う。 かわのえ高原ふるさと館の陣屋巡りは、ふるさと館が主催で行うのか。</p>
<p>文化振興課長</p>	<p>お見込みのとおりである。小・中学生を対象としており、学芸員が現地へ案内・説明して行く予定となっている。今のところ定員は先着10名としている。</p>
<p>委員長</p>	<p>他に意見等ないか問い、議事に移る。</p>
<p>委員長</p>	<p>議事 議案審議に先立ち、当委員会の傍聴をされる方に再度願います。傍聴に際しては、四国中央市教育委員会傍聴人規則を遵守願う。 議案第29号「四国中央市中学校教科用図書採択について」を上程し、議案の説明を求める。</p>
<p>学校教育課長</p>	<p>議案第29号について、資料に基づき議案を説明する。</p>

四国中央市教育委員会会議録

	<p>提案理由としては、5月の第2回臨時教育委員会でご承認いただいた四国中央市教科書採択委員会より、四国中央市教科書採択委員会要綱第2条に基づき、平成28年度以降の四国中央市中学校教科用図書についての調査研究結果が答申された。結果は資料のとおりである。</p> <p>今回、評価した教科書は、文部科学省が提示した教科書改善にあたっての6つの方向性に沿って作成されている。6つの方向性とは、1.教育基本法で示す目標等を踏まえた教科書改善。2.知識・技能の習得、活用、探究に対応するための教科書の質・量両面での格段の充実。3.多面的・多角的な考察に資する公正・中立でバランスのとれた教科書記述。4.教科書記述の正確性の確保。5.児童生徒が意欲的に取り組むための、教科書編修上の配慮工夫の促進。6.教科書検定の信頼性を一層高めるための検定手続きの改善の6点である。</p> <p>今回の教科書採択委員会における協議検討の資料として、まず一つ目は、学校現場の教員の意見を各学校単位に取りまとめて提出いただいた希望意見書である。これは各中学校の教員が、6月19日から閉館日を除く10日間、市内3図書館にて開催した「教科書展示会」において、教科用図書を閲覧し、教科ごとに出版社の選定と意見を学校で取りまとめ提出していただいたものである。学校の希望は、第2希望まで聞いている。</p> <p>次に二つ目の資料として、研究委員の評価である。中学校教科用図書9教科(15種目)について、教科ごとに市内中学校教員から2ないし3名の研究委員を委嘱した。(1)内容の選択、(2)内容の程度、(3)地域性、(4)構成・配列(5)学習指導への配慮、(6)造本その他などの6つの観点を調査要素とした評価と総合評価を、A(極めて適切)、B(適切)、C(概ね適切)、D(工夫を要する)の4段階でしていただいた。総合所見も記していただいている。</p> <p>三つ目としては、今年度愛媛県教育委員会より送付された教科用図書採択基準及び選定資料である。</p> <p>四つ目は、市民の方からのご意見である。「教科書展示会」に意見箱を設置し、広く市民の皆様からご意見をいただいている。</p> <p>採択委員会においては、これらの資料を基に審議を行い取りまとめ、6つの観点と総合評価を4段階で記し、総合所見を付けて中学校教科用図書選定答申資料として、教育委員各位に配布させていただいている。</p> <p>以上、教科書採択委員会に取りまとめいただいた資料を参考に採択をお願いする。</p>
委員長	<p>それでは、事務局提案に基づき、審議に入りたいと思う。はじめに、議案書に添付されている「平成28年度使用中学校教科用図書選定資料」の9教科15種目採択委員会総括結果の報告を求め、各教科順に1種目ごとに採択したいがよいか問う。</p>
全委員	<p>異議ない旨答える。</p>
委員長	<p>では、国語から審議を行う。まず、採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	<p>国語については、5社からの採択になっている。研究委員は3人とも光村図書と教育出版をAとしている。学校からの希望は、教育出版と光村図書で</p>

四国中央市教育委員会会議録

委員長	<p>ある。採択委員会の最終評価では、2社とも優れており、2社をAとしている。</p> <p>教育委員各位へ意見を求める。</p>
篠原委員	<p>教育出版と光村図書は、採択委員会でも評価が良いように、私も本当に甲乙付け難かった。教育出版は、行間にゆとりがあり、文字が大きく字体も統一されて、とても読みやすいと思う。また、今、学校で進めているユニバーサルデザインへの配慮が見られ、見やすくなっているところを評価する。光村図書は、宮崎駿さん、池上彰さん、向田邦子さんなど、生徒の興味をそそる人物の文があり、また読書案内で「本の世界を広げよう」と多くの本の紹介のページが的確な配置で入れられている。一番評価したいのが、かなりのページを使った「学習を広げる」のコーナーに、「読む」「聞く」「話す」「言葉」「伝統的な言語文化」の5項目があり、国語力が育成され実生活でも生かされる学習になると思う。こうした点から光村図書が良い。</p>
教育長	<p>私も光村図書が良いと思う。この教科書は、言語活動を通し、言語の力を日常生活や社会生活に生かせるよう編修されている。篠原委員からも意見があったように、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「文法」「言葉」の学習の最後に「生活に生かす」「他教科に生かす」が位置付けられ、その学習で身に付けた言葉の力を、国語の授業以外でも使うように具体的に例示しているところが評価できる。また、様々な分野の本がどの学年でも紹介されていて、読書生活を充実するための教材を取り上げている点を、読書を奨励する観点から評価する。</p>
近藤委員	<p>私は、教育出版の方が良いと思う。教育出版には、東京オリンピック招致に活躍した佐藤真海さんや宇宙飛行士の毛利衛さんを取り上げていて、生徒は興味をもって学習に入って行けると思う。また、文字が大きくレイアウトがゆったりしている教育出版が見やすく良いと思う。</p>
鈴木委員	<p>私も両社の教科書どちらも素晴らしいと思うが、あえて言うならば教育出版の方が良いと思う。パラパラとめくったとき、教育出版の方が見やすいと感じた。情報の収集や発信に関する教材が、どの学年でも取り上げられ、実生活に生きる国語力が付くよう編修されている点を評価する。</p>
委員長	<p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、国語について採決を行うが異議ないか問う。</p>
全委員	<p>異議ない旨伝える。</p>
委員長	<p>光村図書に賛同する方は挙手を願う。 (2名：教育長、篠原委員) 教育出版に賛同する方は挙手を願う。 (2名：近藤委員、鈴木委員) 私は、読書生活の充実と学習の広がりから、光村図書を推薦する。 よって国語については、光村図書を採択と決する。 次に、書写について、審議を行う。</p>

四国中央市教育委員会会議録

	採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
石津主幹(学教)	書写については、4社からの採択となっている。研究委員は3人とも教育出版をAとしている。学校からの希望は東京書籍、教育出版、光村図書であった。採択委員会の最終評価では、教育出版をAとしている。
委員長	教育委員各位へ意見を求める。
篠原委員	国語の採択が光村図書に決まったが、書写を他の会社にしても現場に不都合はないのか。
石津主幹(学教)	評価提出の際、3人の研究委員に、国語と書写の採択が違っていても困ることがないか確認したが、問題ないとの返答であった。
篠原委員	そうであれば答申通り、教育出版が良いと思う。教科書によっては、習字のお手本が左のページにあるものもあったが、やはりお手本は右のページの方が良いと思う。こうした使い勝手を考慮されているのが教育出版だと思う。また、書写学習の基礎基本をしっかり押さえ、单元ごとに「学習を生かして書く」という項目があり、私が願っている日常生活でも生かされる工夫ができていると感じた。
教育長	教育出版のお手本の大きさが、実際の半紙の大きさに対応しているものが多く、生徒は使いやすいと思う。また、筆の流れが明確に分かるようにしている点も評価できる。
近藤委員	答申を見ると教育出版は、6つの観点全てがAで、他社より評価が高くなっている。答申通り教育出版で良いと思う。
鈴木委員	私も近藤委員と同じで、どの観点で見ても、教育出版は良くできていると思う。
委員長	その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、書写について採決を行う。 教育出版に賛同する方は挙手を願う。 (全委員賛同) それでは、書写については、教育出版を採択と決する。 続いて社会に移る。まず、地理について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。
石津主幹(学教)	地理については、4社からの採択となっている。研究委員は2人とも東京書籍をAとしている。学校からの希望は東京書籍と帝国書院である。採択委員会の最終評価では、東京書籍をAとしている。
委員長	教育委員各位へ意見を求める。
近藤委員	私は、東京書籍が良いと思う。他社と比べて地図やグラフ、関連する写真が効果的に配置されており、学習に対する意欲が湧いてくるようなつくり

四国中央市教育委員会会議録

鈴木委員	<p>なっていると思う。中でも、地理スキルアップで大枠を捉え、調査の達人で学習を深め、ふり返りではウェビングマップで思考・表現力を高める工夫がされている。地理では行ったことがない、見たことがない、経験したことがないことを学習するので、イメージーションの湧きやすさという面からも、資料の豊富な東京書籍が良いと思う。</p> <p>帝国書院は、答申にもあるように地図帳との連携やインパクトのある資料が良いと思った。東京書籍は、1節ごとのはじまりが写真や地図等だけで統一されている。これによって様々な考察や予想を巡らすことができ、一定の概念に捉われない発想が出てくると思う。私も東京書籍が良いと思う。</p>
教育長	<p>東京書籍は、単元ごとのめあてが明確で、写真やグラフ、表が豊富で分かりやすい。1単位時間に見開き2ページを基本とした内容になっているのも、分かりやすい授業づくりを行う上での優れた工夫であると思う。</p>
篠原委員	<p>東京書籍と帝国書院の教科書ともに美しい写真や表、地図が適切に配置されていると思うが、東京書籍のレイアウトの方が、すっきりとしている。採択委員会の最終評価でも東京書籍を推している。よって私も東京書籍が良いと思う。</p>
委員長	<p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、地理について採決を行う。 東京書籍に賛同する方は挙手を願う。 (全委員賛同) それでは、地理については、東京書籍を採択と決する。 続いて、歴史について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	<p>歴史については、8社からの採択となっている。研究委員は3人とも育鵬社をAとしている。学校からの希望は東京書籍、日本文教出版、育鵬社である。教科書展示会での閲覧者の意見は、育鵬社の採択を求めるもの：3件、育鵬社を採択しないように求めるもの：2件、育鵬社および自由社を採択しないように求めるもの：1件であった。採択委員会の最終評価では、育鵬社をAとしている。</p>
委員長	<p>教育委員各位へ意見を求める。</p>
近藤委員	<p>私は、育鵬社が良いと思う。単元ごとに歴史絵巻があって生徒が歴史上の出来事の流れをくみやすいと思う。また、朱印船、咸臨丸、日章丸など、各時代を象徴する船を取り上げ、海洋国家である日本の歩みを外国との関わりの中に紹介することが、我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うことにつながると思う。このようなことが他社と比べ、しっかり書けている点を評価する。</p>
教育長	<p>私は、歴史や文化はその時代に影響を与えた優れた人物が作り出したものであると思う。そこに視点を当てると育鵬社の歴史教科書は他社と比較して群を抜いて多くの人物が取り上げられており、注目すべきは女性が多く取り</p>

四国中央市教育委員会会議録

鈴木委員	<p>上げられている点で、大いに評価できるものがある。また、学習指導要領に示されている「我が国や郷土の伝統と文化を尊重する」という記述も他社と比して数多くあり、日本人として誇りをもたせることができるものになっていると思う。また、「国や郷土に対する愛情を深める」という観点からも多くの地域の歴史や文化を取り上げており、沖縄やアイヌについても本土との過度の差異を強調することなく、日本国の同胞として温かい記述になっている。また、現場や採択委員会も育鵬社を推している。よって私は、育鵬社の教科書が最も良いと考える。</p> <p>私も歴史の教科書は育鵬社が良いと思う。育鵬社の教科書は、答申にあるように、「郷土の伝統と文化を尊重し理解と愛情を深める」という観点が、はっきりしていて良いと思う。歴史学習は、単に事実を時系列に学ぶだけではなく、その時代の価値観や人々の決断を知り、現代の自分がどのように感じるのかを考え、未来をどのように担うべきかを考えることに意義があると思う。その点で育鵬社は、中学生の視点からの課題提起があり、授業でのグループ学習などの活用が期待できる。</p> <p>日本文教出版の教科書は、答申にあるように、最終ページなど地図を効果的に使用していて、総合的な学習につながっている点が良いと思う。但し、節ごとの区切りがやや分かり難く、見返した時に探し難いと思う。学習する上で、育鵬社の教科書の方が、色付けの工夫などがあり見やすく整理されていて良いと思う。</p>
篠原委員	<p>私も育鵬社が良いと思う。答申の中に、「今使っているものより随分と分かりやすくまとめられている。何よりも日本人として誇りがもてる教科書を使うことが未来の大人をつくる大切なポイントだ。」という言葉があり、その願いが、この教科書に込められていると思う。女性の活躍も多く取り入れられ、その点を評価する。</p>
委員長	<p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、歴史について採決を行う。 育鵬社に賛同する方は挙手を願う。 (全委員賛同) それでは、歴史については、育鵬社を採択と決する。 続いて、公民について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	<p>公民については、7社からの採択となっている。研究委員は3人とも育鵬社をAとしている。学校からの希望は、東京書籍、日本文教出版、育鵬社である。教科書展示会での閲覧者の意見は、育鵬社の採択を求めるもの：1件、育鵬社を採択しないように求めるもの：1件、育鵬社および自由社を採択しないように求めるもの：1件であった。採択委員会の最終評価では、育鵬社をAとしている。</p>
委員長	<p>教育委員各位へ意見を求める。</p>
教育長	<p>私は、育鵬社の公民教科書が一番良いと思う。内容を見てみると「つかむ」「調べる」「まとめる」という問題解決型の学習になっており、アクティ</p>

四国中央市教育委員会会議録

	<p>ブルーニング学習を促す構成になっている点が大いに評価できる。また、我が国の領土をめぐる問題についても詳細に記述されている。歴史の時間軸と公民の空間軸を考えると、同系列の教科書で学ぶことが最適とも考える。但し、育鵬社で気になるのは、「釜石の奇跡」として震災のことを取り上げていることに関してである。これは防災教育を充実させ成し得たことであり、奇跡として取り上げることに違和感を感じる。</p>
篠原委員	<p>日本文教は、資料が多くレイアウトにも工夫があり見やすくできている。「学習の確認と活用」があり、重要なところを明確に示し「まとめよう」「考えよう」と生徒が自ら意欲的に学べるよう導いている点が良い。また、育鵬社は、「なぜ公民を学ぶのか？」のページでその意義をしっかりと伝えている。生徒が「日本の歴史」に連なる存在であることを自覚した上で、「家庭・地域社会・国家・国際社会」と自分の関係を認識して「自分の立ち位置」を知ることにより、「社会において自立的に生きる基礎を培う」よう書いてある点で私も育鵬社が良いと思う。</p>
鈴木委員	<p>私も育鵬社が良いと思う。最も見やすい紙面構成になっていると感じた。また、社会科のまとめを行う学習において、課題の探究方法が詳しく解説されるなど、社会的な見方や考え方が育つように編修されている点が評価できる。</p>
近藤委員	<p>育鵬社が一番良いと思う。「領土を取り戻す、守るということ」のページで、領土問題に対して最も正確で分かりやすく記述されている。国際社会に対してこの問題を諦めずに主張し続けることの重要性が示唆されている。</p>
教育長	<p>「釜石の奇跡」については、奇跡で終わらせないように子どもたちに教えて行く必要がある。</p>
委員長	<p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、公民について採決を行う。 育鵬社に賛同する方は挙手を願う。 (全委員賛同) それでは、公民については、育鵬社を採択と決する。 続いて、地図について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	<p>地図については、2社からの採択となっている。2名の研究委員の評価は分かれ、1名は東京書籍をA、1名は帝国書院をAとしている。学校の希望意見書によると、すべての学校が帝国書院を希望している。採択委員会の最終評価では、帝国書院をAとしている。</p>
委員長	<p>教育委員各位へ意見を求める。</p>
鈴木委員	<p>私は、東京書籍が良いと思う。地図そのものが大変見やすく、資料が精選されている。索引が左右に付いており、前後どちらからも、探したいところを見つけることができる。</p>

四国中央市教育委員会会議録

篠原委員	<p>私は、帝国書院が良いと思う。鈴木委員が指摘した索引に私も注目した。帝国書院は、右側には付いていないが、索引で記事が隠れないというメリットがあると思う。索引は左側だけでも困ることはないと思う。</p>
教育長	<p>帝国書院の方が、愛媛県内の地名が詳しく示されているので、使いやすいと思う。様々な地図の活用方法を示したコーナーが設けられており、基礎的な知識や技能が身に付くように構成されている点が良い。</p>
近藤委員	<p>今、実際に使っている全ての学校から希望が出ているので、帝国書院にすれば良いと思う。</p>
委員長	<p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、地図について採決を行う。 東京書籍に賛同する方は挙手を願う。 (1名：鈴木委員) 帝国書院に賛同する方は挙手を願う。 (3名：教育長、篠原委員、近藤委員) よって、地図については、帝国書院を採択と決する。 長時間の協議となったので、ここで10分間の休憩を取りたい旨伝える。 午後2時40分休憩を宣す。再開は午後2時50分とする。</p> <p style="text-align: center;">～ 休 憩 ～</p>
委員長	<p>午後2時50分 協議の再開を宣し、数学の審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	<p>数学については、7社からの採択となっている。研究委員は3名とも啓林館をAとしている。学校からの希望は、東京書籍、学校図書、啓林館、日本文芸出版である。採択委員会の最終評価では、啓林館をAとしている。</p>
委員長	<p>教育委員各位へ意見を求める。</p>
鈴木委員	<p>私は、数学の教科書は、啓林館が良いと思う。啓林館の教科書は、大切な定義や公式を色で囲っていて、見返したときにすぐに目に入るので確認がしやすい。答申にあるように、例題、練習問題などの流れも項目ごとに色の見出しで統一されており、スムーズな授業の展開が期待できる。学校図書の教科書は、数学が、様々な生活場面で活用されていることを効果的に取り上げていて、興味や関心をもたせる工夫がある。使っている言葉が分かりやすく、丁寧に説明しているところが良いと思う。ただし、説明が続いているのか、問題に取り掛かるのか、視覚的に曖昧なところもあり、定義や公式の再確認がしがたい印象を受ける。市内小・中学校が取り組んでいる授業のユニバーサルデザイン化の観点から、私は啓林館の教科書が良いと思う。</p>
篠原委員	<p>私も啓林館が良いと思う。小学校の時、算数が好きだった子どもが、中学校に入り、数学が苦手になったという話を聞いたことを、啓林館の中1の1ページ目の「保護者の方へ」の欄を見て思い出した。 冒頭にある「学習の進め方」が、どの学年も丁寧で、特に中1において</p>

四国中央市教育委員会会議録

<p>教育長</p>	<p>は、より丁寧で算数から数学への移行がうまく行けそうに思う。意味で改行されていて、問題の内容を理解しやすいと思う。実生活の身の回りと結びつく問題が多く、数学の学習に興味をもてると思う。</p> <p>また、この教科書は、付属のマスナビブックとの2冊で構成され、本誌と一体になるよう製本されていることに感心した。マスナビブックで復習や自由研究に取り組み、解答がマスナビブックに記載されている点も良いと思う。</p> <p>全教科書の中で、啓林館の教科書が、最も特別支援教育への配慮がなされていると感じる。例えば、1行の文字数を減らし意味改行を行っているので、読みやすく見やすい。また、中1の教科書の巻末についている「とび出す立方体」や「正二十面体の展開図」、中3の「円周角の定理発見ディスク」は、工作を通じて理解が進むように工夫されている。全体的に、分かりやすさを追究した教科書であるという印象をもつ。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>意味改行は、東京書籍、日本文教出版も行っている。また、工作の教材は、東京書籍、学校図書、日本文教出版にもあり各社工夫されている。ただし、教育長が指摘しているとおり比較してみると、啓林館が最も分かりやすい。啓林館は、それらに加えてマスナビブックで習熟度別指導に対応できるようにしている点が良いと思う。</p>
<p>委員長</p>	<p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、数学について採決を行う。 啓林館に賛同する方は挙手を願う。 (全委員賛同) それでは、数学については、啓林館を採択と決する。 続いて、理科について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
<p>石津主幹(学教)</p>	<p>理科については、5社からの採択となっている。研究委員は3名とも東京書籍をAとしている。学校からの希望は、東京書籍、大日本図書、学校図書、教育出版、啓林館である。採択委員会の最終評価では、東京書籍をAとしている。</p>
<p>委員長</p>	<p>教育委員各位へ意見を求める。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>学校の希望が分かれているのに、研究委員3名が東京書籍をAとしているのはどうしてか。</p>
<p>石津主幹(学教)</p>	<p>学校の希望は第2希望まで聞いている。よって市全体で延べ14の希望が集まっている。その14の中に、5社全てが入っているということである。</p>
<p>近藤委員</p>	<p>答申の6つの調査要素評価を見ると、東京書籍は他社より一段評価が高い。研究委員の所見にあるように、東京書籍は、写真の鮮明さにおいて他社より抜き出ていると思う。基礎・基本から応用まで段階的に使いやすい教科書だと思う。私は、東京書籍を推す。</p>

四国中央市教育委員会会議録

鈴木委員	<p>巻末にペーパークラフトがついている教科書は、生徒に興味関心を強くもたせると思う。東京書籍と啓林館の2社が各学年の巻末に付けている。両社を比較すると東京書籍の方が質が高いと思う。東京書籍の中1「世界の活火山分布」、中2「温帯低気圧3Dペーパークラフト」は、生徒の理解を深める優れた教材であると思う。私は、東京書籍を推す。</p>
篠原委員	<p>私は、啓林館が良いと思う。マイノートが良くできていると思う。各単元の基礎・基本がコンパクトにまとまっており、理科の大切な用語をしっかりと覚えるようにできている。青色シートを使って、覚えることができれば、青色シートで隠しながら、解答欄に書き込むようになっている。マイノートができると、一定の学力が身に付くと思うので私は、啓林館を推す。</p>
教育長	<p>各社それぞれ良さがあるが、総合すると東京書籍が一番良いと思う。各学年の始めに、これから学ぶこととこれまでに学んだことを示すページが設けられるなど、系統的・発展的に構成されている。空欄に重要語句を入れると既習事項を確認できるコーナーが随所に設けられ、基礎・基本がしっかり身に付くようにしている。写真が色鮮やかで構図が良い。私は、東京書籍を推す。</p>
委員長	<p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、理科について採決を行う。 東京書籍に賛同する方は挙手を願う。 (3名：教育長、近藤委員、鈴木委員) 啓林館に賛同する方は挙手を願う。 (1名：篠原委員) よって、理科については、東京書籍を採択と決する。 続いて、音楽一般について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	<p>音楽一般については、教育出版、教育芸術の2社からの採択となっている。研究委員の評価は、1名が教育出版をA、2名が教育芸術をAとしている。学校からの希望は、教育出版と教育芸術である。採択委員会の最終評価では、教育出版、教育芸術の2社をAとしている。</p>
委員長	<p>教育委員各位へ意見を求める。</p>
鈴木委員	<p>私は、教育出版が良いと思う。教育出版は、教科書の表紙がショパン直筆の楽譜の写真や楽器の写真など資料がふんだんに載せられていて、聴く・見るなどの五感に訴える教科書であると感じた。また、外国の音楽だけでなく日本の芸術についても折りこみページでダイナミックに取り上げており、答申にあるように様々な領域をバランスよくまとめていると思う。 特に、ふるさとや早春賦の曲では、情景の写真が効果的に用いられており、日本のふるさとのよさを感じ大切に思う心を育むことができると思った。音楽を総合芸術として多面的に捉えることのできる教科書になっていると思う。</p>
近藤委員	<p>教育芸術の1年生の教科書の中では、松尾芭蕉の俳句が紹介されている。</p>

四国中央市教育委員会会議録

篠原委員	<p>静かさを音という概念で捉えるという点は斬新で、音にあふれた現代社会の中で生活している我々がもう一度取り戻したい感性であると思う。よって教育芸術を推す。</p> <p>私は、どちらの教科書も優れていると思うが、採択替えになったら、今の教科書に載っている曲のCDを買い換えなくてはならず、困ると思う。採択替えにする特段の理由がなければ、今までの教材研究が生かせるので、今使っている教育芸術にしたら良いと思う。</p>
教育長	<p>私も教育芸術が良いと思う。研究委員の所見で、「現在授業で使用しているが、生徒が喜んで歌う曲が多数取り入れられており、学習に前向きに取り組むことができる」とある。生徒が喜んで歌う曲が多数ある教育芸術を推す。</p>
委員長	<p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、音楽一般について採決を行う。 教育出版に賛同する方は挙手を願う。 (1名：鈴木委員) 教育芸術に賛同する方は挙手を願う。 (3名：教育長、篠原委員、近藤委員) よって、音楽一般については、教育芸術を採択と決する。 続いて、器楽合奏について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	<p>器楽合奏については、教育出版、教育芸術の2社からの採択となっている。研究委員の評価は、1名が教育出版をA、2名が教育芸術をAとしている。学校からの希望は、教育出版と教育芸術である。採択委員会の最終評価では、教育出版、教育芸術の2社をAとしている。</p>
委員長	<p>教育委員各位へ意見を求める。</p>
篠原委員	<p>音楽一般との関連を図るという意味において、音楽一般と同じ教育芸術が良いと思う。</p>
近藤委員	<p>その件に関して現場の先生は、どう言っているか。</p>
石津主幹(学教)	<p>3名の研究委員に聞いたところ、3名とも音楽一般と器楽合奏をそろえてほしいとのことであった。</p>
近藤委員	<p>そうであれば現場の声を尊重して、教育芸術が良いと思う。</p>
鈴木委員	<p>中学校の器楽では、リコーダーの活動が中心的である。教育芸術の教科書は、リコーダーの説明が大変丁寧にされている。例えば、穴のふさぎ方のコツが示してあり、中学生がリコーダー演奏においてつまずくポイントをよく押さえている。</p>
教育長	<p>教育芸術の方が、和楽器を沢山紹介している。箏、三味線、太鼓、篠笛、</p>

四国中央市教育委員会会議録

委員長	<p>尺八による我が国の伝統的な音楽を教材として扱い、我が国や郷土を愛する心を育成することができるよう編修された教科書であると思う。</p> <p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、器楽合奏について採決を行う。 教育芸術に賛同する方は挙手を願う。 (全委員賛同) それでは、器楽合奏については、教育芸術を採択と決する。 続いて、美術について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	<p>美術については、3社からの採択となっている。研究委員の中では、光村図書の評価が高く、2名がA、1名がBとしている。学校からの希望は、開隆堂、光村図書、日本文教出版である。採択委員会の最終評価では、光村図書をAとしている。</p>
委員長	<p>教育委員各位へ意見を求める。</p>
鈴木委員	<p>日本文教は、各単元のタイトルが中学生の視点に立っていておもしろいと思う。但し、裏を返すとそれが一定の価値観や視点を与え過ぎないかという疑問もある。例えば、「響きあう」とあるところも、「ぶつかっている」とか「溶けている」と感じる場合もあるのではないかと思う。その点で言うと、美術の教科書としては情報がやや過多であるかもしれない。</p> <p>開隆堂は、答申にもあるように、日本文化をふんだんに取り入れている点が大変良いと思う。但し、実生活から離れ過ぎると中学生に興味・関心をもたせ続けるのは難しいと感じる。</p> <p>光村図書は、生活の中にある美術という視点が十分にある。さらに、環境や平和という課題を通して、グローバルな感性を養うことができる良い教科書だと評価する。</p>
近藤委員	<p>鈴木委員の指摘のとおり、光村図書は生徒の生活に根ざした教材が多く評価できる。</p>
篠原委員	<p>光村図書は、図版が大きくて生徒に感動を与えるものが多く含まれるので良いと思う。</p>
教育長	<p>光村図書は、研究委員の評価が高く、研究委員が「発想や構想の手助けになる部分が多く、実際使いやすい」という所見を出しているので、光村図書で良いと思う。</p>
委員長	<p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、美術について採決を行う。 光村図書に賛同する方は挙手を願う。 (全委員賛同) それでは、美術については、光村図書を採択と決する。 続いて、保健体育について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>

四国中央市教育委員会会議録

石津主幹(学教)	保健体育については、4社からの採択となっている。3名の研究委員全員が学研をAとしている。学校からの希望は、大日本図書、大修館、学研である。採択委員会の最終評価では、学研をAとしている。
委員長	教育委員各位へ意見を求める。
近藤委員	学研は、研究委員3人とも6つの調査要素評価をAとしており、他社より高い評価である。答申通り学研で良いと思う。
鈴木委員	学研以外の教科書は、余白が多かったり、漫画のようなイラストが多かったり適当でないと思う。
教育長	学研は、本文や資料の質・量とも充実しており、解説が丁寧だと思う。
篠原委員	私も学研の教科書は、本文と資料のレイアウトが良く、大変見やすいと思う。各章のまとめに「用語の確認」「基礎の完成」「活用の問題」「生活への活用」のページがあり、基礎から活用まで力が付くように編修されているところが良くできていると思う。
委員長	<p>その他に意見ないか問う。</p> <p>その他に意見ない旨確認し、保健体育について採決を行う。</p> <p>学研に賛同する方は挙手を願う。</p> <p>(全委員賛同)</p> <p>それでは、保健体育については、学研を採択と決する。</p> <p>続いて、技術について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	技術については、3社からの採択となっている。研究委員の評価は、東京書籍が高く2名がA、1名がBとしている。教科書展示会での閲覧者の意見は、東京書籍の採択を求めるもの：1件、開隆堂の採択を求めるもの：1件であった。採択委員会の最終評価では、東京書籍をAとしている。
委員長	教育委員各位へ意見を求める。
近藤委員	答申では、東京書籍と開隆堂が非常に良い評価になっているが、東京書籍の方が、サイズが大きい分、文字が大きく、また、イラストや写真が充実している。
教育長	東京書籍は、生徒が製作品として選べるものが多く、ものづくりの楽しさを実感させ、伝統技術や新しい技術を学ぶことができるようになっている。
鈴木委員	東京書籍が良い。製作の手順を左から右に一方向にまとめており、分かりやすいと思う。
篠原委員	東京書籍の教科書には、巻末に「防災手帳」があり、技術の学習が防災に役立つことが実感できる。安全な実習が行えるように、安全のポイントが明

四国中央市教育委員会会議録

委員長	<p>記されているのが良い。</p> <p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、技術について採決を行う。 東京書籍に賛同する方は挙手を願う。 (全委員賛同) それでは、技術については、東京書籍を採択と決する。 続いて、家庭について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>
石津主幹(学教)	<p>家庭については、3社からの採択になっている。研究委員は3人とも、東京書籍をAとしている。学校からの希望は、東京書籍、開隆堂である。教科書展示会での閲覧者の意見は、東京書籍の採択を求めるもの：1件であった。採択委員会の最終評価では、東京書籍をAとしている。</p>
委員長	<p>教育委員各位へ意見を求める。</p>
鈴木委員	<p>いずれの教科書も実生活に関連したものを取り上げており良いと思ったが、実習を伴う活動があるので、パッと見て見やすさを感じる事が大切なポイントだと思う。開隆堂は、世界的に有名になった近藤麻理恵さんをはじめ様々な職業の人たちを取り上げ、家庭科で学んだことが自分の未来につながって行くという流れが大変素晴らしいと思う。東京書籍は、答申にもあるように料理の手順や方法がより詳しく分かりやすい印象をもった。弁当作りの記事が、中学生に親しみやすく実践を促すのではないかと思った。よって私は、東京書籍がより良いと思う。</p>
篠原委員	<p>現在、使用されている開隆堂は、写真や文字がやや小さいと感じる。一方、東京書籍は教科書の幅が少し広い分、写真や文字が大きく見やすい。表紙に書いている「自立と共生を目指して」のとおり、家庭科は、実生活においての生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識を習得する教科である。したがって実習内容が豊富であり、実生活から課題意識をもたせる構成になっている東京書籍が良いと思う。</p>
近藤委員	<p>技術と同じで、東京書籍の方が、サイズが大きい分、文字が大きく、イラストや写真も充実していると思う。</p>
教育長	<p>私も、研究委員や採択委員会が推している東京書籍が良いと思う。安全で衛生的な実習が進められるように、安全や衛生に関するポイントが明記されている点が評価できる。</p>
委員長	<p>その他に意見ないか問う。 その他に意見ない旨確認し、家庭について採決を行う。 東京書籍に賛同する方は挙手を願う。 (全委員賛同) それでは、家庭については、東京書籍を採択と決する。 続いて、英語について審議を行う。採択委員会答申結果の説明を事務局に求める。</p>

四国中央市教育委員会会議録

石津主幹(学教)	英語については、6社からの採択となっている。研究委員の評価は、開隆堂を2人がA、1人がBとしている。学校からの希望は、東京書籍、開隆堂、三省堂、教育出版である。採択委員会の最終評価では、開隆堂をAとしている。
委員長	教育委員各位へ意見を求める。
鈴木委員	評価の高い3社を読み比べた。東京書籍は字が大きく見やすく、写真にも工夫が見られた。三省堂も物語の中のイラストが工夫されており、興味をもちやすくできている。ただし、答申にもあるように教科書に付けられているリストは、活用し難いと感じた。開隆堂は教科書全体に躍動を感じた。答申にもあるように、授業においてグループ活動を取り入れやすい点も評価できる。市内の中学校が取り組んでいる自己評価も記入できるようになっていて便利である。以上の3社の中で、現場からの評価が高くグローバルな内容が多く掲載されている開隆堂が良いと思う。
篠原委員	私は、教育出版が良いと思う。別冊のエッセンシャルズが良くできていると思う。各単元の基礎基本がコンパクトにまとまっており、大切な単語を赤で表している。赤色シートを使って、隠しながら、覚えたかどうかチェックできるようになっているので、生徒が意欲をもって取り組むと思う。各学年の到達目標が明記されていて、自己チェックができるところも良い。
近藤委員	開隆堂には、3年間共通の英語で「できるようになったこと」リストがある。それによって中学校卒業時点で身に付けておきたいコミュニケーション能力が分かり、現在の自分の力がどの辺りか明確になるようになっている。開隆堂の方が、3年間のつながりが分かって良いと思う。
教育長	コミュニケーション能力を育成するためには、生徒同士の「ペア学習」や「グループ活動」の機会を多く取る必要があるが、開隆堂にはそのような協働学習がふんだんにあって良いと思う。
委員長	<p>その他に意見ないか問う。</p> <p>その他に意見ない旨確認し、英語について採決を行う。</p> <p>開隆堂に賛同する方は挙手を願う。</p> <p>(3名：教育長、近藤委員、鈴木委員)</p> <p>教育出版に賛同する方は挙手を願う。</p> <p>(1名：篠原委員)</p> <p>よって、英語については、開隆堂を採択と決する。</p> <p>以上で、全9教科、15種目の審議は終了するが、全体を通して何か意見ないか問う。</p>
教育長	今回検討した教科書は、どの出版会社も様々な工夫・改善が随所に見られた。それぞれに良さや特色があるので、重要な事は使用する教師の力量が問われているのだということを改めて感じている。今後は、新しく採択された教科書を使って授業のユニバーサルデザイン化を一層進め、全ての生徒が楽しく「できる・わかる」授業の実現を目指して行きたいと思う。

四国中央市教育委員会会議録

委員長	<p>私もそのように思う。先生方も色々と大変な面もあるかと思うが生徒のためによろしくお願ひしたい。</p> <p>議案第29号について、その他意見・質問等ないか問う。</p> <p>意見・質問等ない旨確認する。</p> <p>それでは、議案第29号については採択のとおりとする。</p> <p>以上で、議案第29号「四国中央市中学校教科用図書採択について」を終了する旨宣する。</p> <p>続いて、その他の案件に移る。</p>
委員長	<p>その他</p> <p>「高校生議会一般質問要旨及び答弁書（教育委員会関連分）について」の説明を事務局に求める。</p>
教育部長	<p>「高校生議会一般質問要旨及び答弁書（教育委員会関連分）について」を資料に基づき説明する。</p> <p>市内の3高校から26名の高校生議員が選出され、8月4日に開催された。</p>
委員長	<p>只今の説明に関して、意見・質問等ないか問う。</p>
教育長	<p>「宇摩の子の誓い」については、高校生にも配布するのか。</p>
石井所長（少年）	<p>お見込みのとおりである。</p>
委員長	<p>その他、高校生議会について意見質問等ないか問ひ、意見質問等ない旨確認する。</p> <p>以上で日程に示された案件を全て終了したことを宣する。</p> <p>その他報告事項等ないか問う。</p>
教育総務課長	<p>次回定例会の招集を願う発言。</p>
委員長	<p>次回、教育委員会第9回定例会を平成27年9月25日（金）午後1時30分から、本庁5階第1委員会室に召集する。</p> <p>その他に報告等ないか問ひ、報告・意見等ない旨確認する。</p>
委員長	<p>閉会</p> <p>午後3時25分、閉会を宣する。</p>

四国中央市教育委員会会議録

以上、会議の顛末を記録し、その真正であることを認め、署名する。

教育委員会会議録署名人

四国中央市教育委員会 委員

四国中央市教育委員会 委員

会議録作成者 教育総務課 星川 直子